

梅若会定式能

能
源氏供養

角当
行雄



狂言

左近三郎

山本
則重

若松
隆

能
邯
鄲

山中 透晶
山中つばめ



令和六年五月十九日(日)
午後一時開演(正午開場)

梅若能楽学院会館
自由席 七、〇〇〇円



<https://umewaka.org>

文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術等総合支援事業(公演創造活動))
| 独立行政法人 日本芸術文化振興会



能
源氏供養 角当 行雄

御厨 誠吾 柿原 弘和 飯田 清一 熊本俊太郎

狂言
左近三郎

山本 則重 若松 隆

後見 高橋 栄子 井上貴美子
梅若長左衛門 鷹尾 雄紀 内藤 幸雄
地謡 川口 晃平 山崎 友正 梅若 紀彰 鷹尾 章弘

仕舞

東方 朔 伶以野陽子 野崎 美歩
田 村 庸子 山崎 友正
杜 山 小田切康陽
浮 舟 三吉 徹子 内藤 幸雄
若 山 山崎 正道
村 山 山崎 正道
キリ 鈴木 矜子 山崎 正道
キリ 三吉 徹子 幸雄

《休憩十五分予定》

能
邯鄲 山中つばめ 山中 迺晶

殿田 謙吉 原岡 一之 小寺真佐人
曾和伊喜夫 松田 弘之

間山本 則秀

後見 富田 雅子 井上須美子 松尾 隆之
小田切康陽 梅若 景英 松山 隆之
地謡 小田切亮磨 梅若 景英 松山 隆之
土田 英貴 角当 直隆

『源氏供養』げんじくようし山の観世音を信仰する聖覚は、石山寺参詣の途中、女に呼び止められる。女は石山寺で源氏物語を書いたが、主人公(光源氏)の供養を怠り、成仏できないという。石山で源氏と自分のためにも供養してほしいと告げるとその姿は消えた。石山寺に着いた僧が供養を始めると夜更けに紫の薄衣をまとった女が夢うつつのように現れる。女は紫式部の霊と言いい、合唱して僧に礼を述べ舞う。やがて僧と霊は共に源氏の成仏を願い回向を終える。

『邯鄲』くかんたん唐土、蜀の国の青年廬生くろせい人は人生に悩み、楚国の羊飛山に住む高僧に教えを乞いに旅に出る。旅の途中の邯鄲の里で雨宿りをすると、宿の女主人から将来を知る事ができるという邯鄲の枕を勧められ、廬生はその枕で昼寝をする。廬生が眠りにつくと突然楚国の勅使に起こされ、勅使から楚国の帝位を廬生に譲るといふ勅諭を聞く。廬生はこの勅諭を受け輿に乗ると、自分をたたえる民の声のなか宝物が山と積まれた光り輝く宮殿に着く。廬生が帝位について五十年が過ぎ、即位五十年の酒宴で舞童とともに廬生も舞を舞う。しかし栗のご飯を召し上げられという声に廬生が目覚めると、それは宿の女主人の声だった。廬生は今までの百年の栄華も栗飯を一炊する間のわずかな出来事であったと気付き、今までの迷いから離れ、悟りをひらくことができた事を邯鄲の枕に感謝をすると、高僧の住む羊飛山には向かわず故郷へと帰ってゆく。



- <JR線>
・総武線・東中野駅西口 徒歩8分
- <地下鉄>
・大江戸線 東中野駅 A3出口
・大江戸線 中野坂上駅 A2・2出口
・丸の内線 中野坂上駅 A2・2出口
いずれも徒歩8分
- <バス>
①関東バス(宿05:中野駅経由)
新宿西口→野方行 宮下交差点下車
②関東バス(宿05:中野駅経由)
野方→新宿西口行 東中野2丁目下車
③京王バス(渋64:中野坂上経由)
渋谷→中野駅南口行 宮下交差点下車
④京王バス(渋64:中野坂上経由)
中野南口→渋谷行 東中野2丁目下車
- *当会館は駐車場はございません。
ご来場の際は電車、バス等をご利用下さい。
- 東京都中野区東中野2-6-14
(公財)梅若会
(梅若能楽学院会館)
TEL:03-3363-7748
FAX:03-3363-7749

【観能チケットとお願い】

- ◆自由席 7,000円・正面指定料別途 1,000円(指定のご希望は公演1週間前までお申し込み下さい)
- ◆チケットは梅若会HPからメールまたは電話、ファクスにて郵便番号、ご住所、お名前、ご連絡先電話番号、ご希望席種をお書きの上お申し込み下さい。(https://umewaka.org/ TEL 03-3363-7748 (不定休)・FAX 03-3363-7749)
- ◆都合により出演者、曲目に変更がある場合がございます。
- ◆当日のクローケ(荷物お預かり)は閉鎖させていただきます。
- ◆梅若会の感染予防対策の取り組み内容
当能楽堂内は株式会社松美家様のご協力により、光触媒(抗菌)コーティング加工済ですので安心してご観能下さい。
- ◆観能に際してのお願い
主催者の許可のない公演中の写真撮影、録音等は著作権、肖像権等の侵害および他のお客様のご迷惑になりますので固くお断り致します。(開演前、休憩中のみ舞台の撮影は可能です。)
- ◆主催:公益財団法人梅若会

